

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. 89 October, 2015

[報告]

建築関連4団体による

いばらき空き家対策

推進協議会(仮称)が発足

[建築作品紹介]

行方市立玉造小学校



一般社団法人
茨城県建築士会

目次

[報告]	建築関連4団体による いばらき空き家対策推進協議会(仮称)が発足	1
[報告]	茨城県建築士事務所協会・茨城県建築士会 合同開催 大納涼会	2
[建築作品紹介]	行方市立玉造小学校	4
[県央支部報告]	見学会報告①「有名建築家による施設見学会 第6弾」 隈研吾作品を中心に都内の最新建築を堪能する旅	6
	見学会報告②「現場見学会」 「ポルシェ」と「ベンツ」の華麗なる競演に圧倒される	7
[シリーズ]	ようこそフレッシュマン！ 阿久津 裕司さん、岩田 直之さん、早乙女 直人さん 根本 昌義さん、疋田 力さん、鈴木 伴幸さん	8
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 羽生 均氏、久保田 吉文氏	10
[木造塾報告]	平成27年度「木造塾」が始まりました！	11
[まちづくり委員会報告]	「常陸国のむかしの家体感ツアー」第5弾！ 先人たちの技術力と情熱をひしひしと感じた一日	12
[研修委員会報告]	講習会・セミナーの企画・開催や試験監督業務への協力に、 委員会メンバーが一丸となって取り組んでいます	14
[会員委員会報告]	第25回チャリティーゴルフ大会開催	15
[総務委員会報告]	第39回ソフトボール大会開催	16
[会員委員会報告]	第8回ボウリング大会開催	16
[青年委員会報告]	土浦のポケットパーク設置事業が「関ブロ理事会賞」受賞！	17
[女性委員会報告]	スウェーデン大使館見学会	18
	本格イングリッシュガーデン「七ツ洞公園」見学会	18
	5月のわくわくセミナー「YKK AP品川ショールーム」	19
	6月のわくわくセミナー「収納のコツ」	19

会報 **けんちく茨城**

題字 **橋本 昌** 茨城県知事

2015年10月 第89号

表紙写真 **行方市立玉造小学校**

設計・監理 (株)須藤隆建築設計事務所

所在地 行方市

建築面積 6,446.61㎡

延床面積 8,149.96㎡

構造・規模 RC造

地上2階建て

竣工日 平成26年3月

発行 平成27年10月9日(年3回発行)

次回発行 平成28年2月5日予定

発行部数 2,450部

発行所 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F

TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330

Eメール kyy05413@nifty.com

編集 情報・広報委員会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷所 株式会社あけぼの印刷社

建築関連4団体による いばらき空き家対策推進協議会(仮称)が発足



長年放置され、周辺住民の生活に支障をきたす存在となっている空き家が日本全国で問題となるなか、5月26日に、政府は全国820万戸に及ぶ空き家対策を講じるため「空家等対策の推進に関する特別措置法」を全面施行しました。

この法により、市町村は倒壊の恐れや衛生上問題のある適切な管理が行われていない空き家を「特定空き家」等に指定し、立入調査、所有者に建物の撤去命令、行政代執行などの措置をとることが可能になります。

このような流れを受けて茨城県においても、4つの建築関連団体——茨城県建築士会のほか、茨城県宅地建物取引業協会、茨城県建築センター、茨城県建築士事務所協会が中心となり、「いばらき空き家対策推進協議会(仮称)」を発足しました。

この協議会は、県内の住宅に係る関係団体が連携し、空き家対策の一環として、それぞれの団体が有する情報、技術、専門知識を生かした事業を行うことで、消費者に安全・安心で良質な中古住宅として提供し、

もって快適な住環境の確保と活力のある地域社会づくりを推進することを目的としています。

会のおもな役割としては、

- ①県、市町村に対する提案等(空き家対策の検討、実態調査等)
- ②市町村との連携・協力(相談会への参画、空き家実態調査の受託等)
- ③所有者等の相談への対応(空き家管理、活用に係る助言、業務サービスの提供等)などが考えられ、今後検討会を重ね、具体的な提案に向けマニュアルの作成、パンフレットの作成などを行っていく予定です。

「いばらき空き家対策推進協議会」構成団体

- ・公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会
- ・一般財団法人茨城県建築センター
- ・一般社団法人茨城県建築士事務所協会
- ・一般社団法人茨城県建築士会

茨城県建築士事務所協会・茨城県建築士会 合同開催

大納涼会

平成27年7月24日(金) 17:00～

水戸市・ホテル テラス ザ ガーデン 水戸



夏の恒例行事となった第10回大納涼会が7月24日(金)「ホテルテラスザガーデン水戸」において開催された。

本年度も茨城県建築士事務所協会との合同開催となった。今年は来賓、会員、賛助会員、建築士事務所協会からの参加者を含めて230名の参加があった。

両会合せての代表として茨城県建築士会柴会長から挨拶があり、続いて来賓挨拶では高橋靖水戸市長、海野透茨城県議会議員、西野一茨城県議会議員よりそれぞれ挨拶をいただいた。

また、県の建築三課より建築指導課山田課長、営繕課鈴木課長、住宅課中村課長にも出席をいただいた。

その後、茨城県建築士事務所協会横須賀会長より乾杯の発声があり祝宴に入った。

昨年と同様今年も、来賓及び建築士会、建築士事務所協会の正会員、賛助会員が交流を図るこの会は、たいへん有意義なものとなった。

祝宴は盛況のうちに進み、大竹賛助会代表幹事の中締めにより会は終了した。



ご来賓の
みなさま



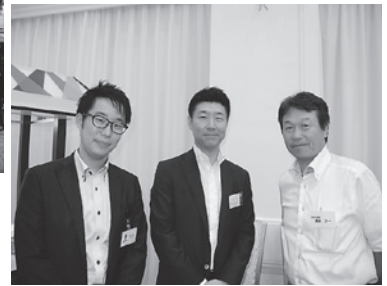
水戸市長
高橋靖氏



県議会議員
海野透氏



県議会議員
西野一氏



式次第

- 開会の言葉
 - 主催者あいさつ
 - 来賓あいさつ
 - 来賓紹介
 - 乾杯
 - 中締め
-
-





[建築作品紹介]

行方市立玉造小学校

我が家のような学校、集まって学ぶ楽しさを実感できる学校をめざして

コモンスペース

計画地は茨城県の東南、霞ヶ浦と北浦の間に位置する学校です。周辺は農作地が多くおだやかな地域にあり、高台の玉造総合運動場のグラウンドを利用して学校を建てました。少子化に伴う適正配置推進により行方市玉造地区の小学校6校を統合した学校です。通学するエリアが広がったため、スクールバスを利用して約640人の児童が登校しています。

1. 地域になじむ学校

地域になじむデザインとして切妻屋根を採用し「和」のテイストを織り込んだ学校です。スクールバスでの登校のため、バスの転回スペースや待合スペースを確保し、安全に配慮しつつ、屋根のある正門・ウェルカムゲートを通り、雨に濡れない工夫をしました。また校

舎と体育館は別棟で、そのあいだを通れるようにし、体育館のステージは屋外ステージと連続して設け、駐車場側に向けても使えるようにしました。この面の外壁は木製の格子を取付け、「和」の雰囲気を出しつつ『玉をつくる』イメージを穴と重ね格子で表現しました。重ね格子は進入路からは見えず、正面のみ見えます。外観は柱・梁の構造を強調し、オレンジ色の柱と白壁でリズム感を出しました。

2. 児童の居場所づくり

校舎は、内装木質化に努めながら、「和」のテイストとして摺り上げ障子や草木染め風タイル・ろうけつ染め風和紙を採用しました。空調設備が見える工場見学風のコモンスペース、上足のまま利用できる中庭、デンや読み聞かせ用の「ご

ろんステージ」など児童の居場所づくりに心がけました。

将来の教室数の増加にも対応できるように多目的室を配置し、コモンスペースは教室に隣接させ、展示用パネルや作業机など有効利用してもらうための家具をはじめから設置しています。

教室の仕切りは6枚片引き戸とし、全開して使えるようにしました。また、少人数教室も教室ごとに設け、ウェットコーナーとして流しを併設しています。このような豊富な学習空間が児童の居場所となるよう計画しました。

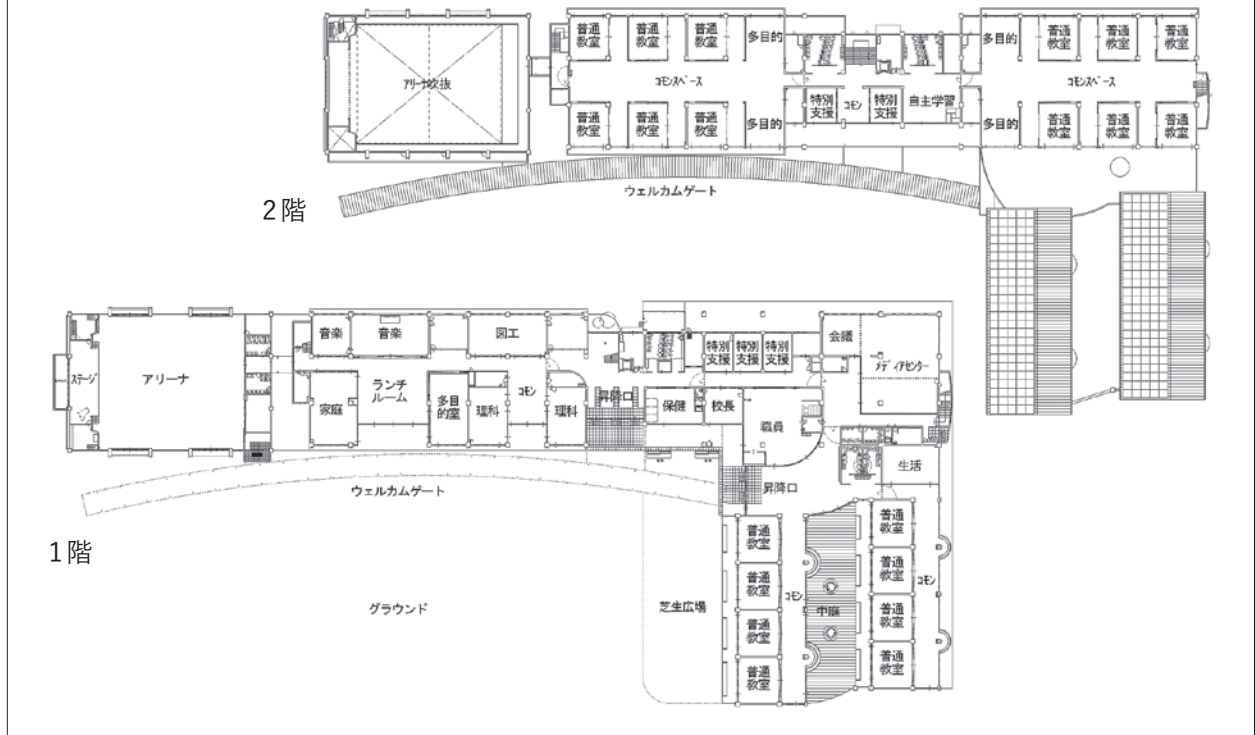
3. ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインやバリアフリーに対応するため、車いす対応のエレベーター、オストメイト対応の多目的トイレ、低学年用水栓

行方市立玉造小学校

所在地 茨城県行方市
設計 株式会社 須藤隆建築設計事務所

建築面積 6,446.61㎡
延床面積 8,149.96㎡
主体構造 RC構造 地上2階



はシングルレバーを用いるなど使いやすさに配慮しました。グラウンドから校舎へは段差なく入れ、泥落とし用のグレーチングと靴拭きマットの2段階で土を落とし、室内に土を持ち込まないように工夫しました。

男子トイレの小便器は袖壁をつけ個別ブースタイプとし少しずつ向きを変えたり、トイレブースを雁行して配置するなど変化をつけリラックスして使用できるようにしました。また死角をつくらないようにするため、入り口に木製格子を取付け、正面からのみ中の様子が分かるようにしました。

4. 防災の拠点

地域の防災の拠点として利用できるようにするため、井戸水の利用、軽油炊きの自家発電設備の設

置、太陽光発電設備の設置、そして調理室と体育館は連携のよい位置としました。また地震により周囲の地盤が下がっても排水に支障が出ないように、可とう継ぎ手を採用するなどの対策を講じています。かまどベンチの設置やプロパンガスの利用などエネルギーのベストミックスを考慮しました。

5. 維持管理の容易な学校

維持管理をしやすくするため、外壁は全面タイル貼りとし、軒の深い屋根を掛け外壁を保護しました。軒樋には枯葉よけネットを入れて落ち葉がたまらない納まりとしています。またランニングコスト低減のためLED照明の採用、各種センサーの採用、トイレの井戸水利用や太陽光発電設備の設置などに配慮しました。

6. グラウンド

低学年用遊び場として教室前に芝生広場をつくりすぐに遊べる場所としました。

ウェルカムゲートには、ドライミストを設置して暑さ対策とし、屋外便所には、型枠コンクリートブロック造を採用し「組積」の見える建物としました。



屋外便所

県央支部見学会報告①「有名建築家による施設見学会 第6弾」 隈研吾作品を中心に都内の最新建築を堪能する旅



上：最初に訪れた「虎ノ門ヒルズ」のエントランス前で全員そろって記念撮影
下左：「虎ノ門ヒルズ」のカフェ 中：竹かご状の「サニーヒルズジャパン」店内 右：東京都庭園美術館

県央支部恒例の施設見学会では、富田事業委員長をリーダーとする市毛支部長ほかの全27名で、建築家隈研吾氏の作品を中心に、昨年東京に完成した建築を2月28日に視察してきました。

まだ寒い朝7時に水戸市総合運動公園に集合し、出発。週末の土曜日で、渋滞のため早めに堤通から都内一般道を走り、予定通り10時に虎の門に到着しました。

「虎ノ門ヒルズ」

設計：(株)日本設計

この建物は、「立体道路制度」を適用した環状2号線の上に建っているのが特徴で、地上52階、高さ247m、延べ面積24万4360㎡、ホ

テル・住居・オフィス・商業施設などで構成されている建物です。バスを降りると、エントランス脇にある環状線地下トンネルの排気塔である50mのガラス張りのモニュメントが迎えてくれます。そこで全員で記念撮影後、47階のホテルロビーに上った瞬間、東京タワーが小さく見えるビルのスケールの大きさに圧倒されました。2階のオープンカフェにて寛いだ後、神楽坂へバスで移動。

「ラカグ (la kagu)」

設計：隈研吾建築都市設計事務所

およそ半世紀前の書籍倉庫をリノベーションし、商業施設として昨年10月10日にオープンした建物です。路地、坂に恵まれた神楽坂の

地形を生かしたアプローチを考えたと氏が語っているように、階段状のウッドデッキで覆った大胆なアプローチが印象的でした。

神楽坂をしばし散策後、私達のグループ7人は、落ち着いた雰囲気「やましよう神楽坂店」にて、そば(ちょっぴりお酒?)を堪能した後、南青山へバス移動しました。

「サニーヒルズジャパン」

設計：隈研吾建築都市設計事務所

南青山に作られた、台湾のパイナップルケーキの大人気ブランドの日本初出店店舗です。木造建築に伝わる「地獄組」というジョイントシステムを用いて組み上げた竹かご状の建築は、小さな空間であり

ながら、包み込まれるような安堵感のある建物でした。その後、白金台に向けバス移動。

「東京都庭園美術館」

設計：宮内省内匠寮工務課/内装 アンリ・ラパン

新しいホワイトキューブの展示室を新設し、昨年11月22日にリニューアル

オープンしたアール・デコ建築の建物です。本館入口で記念撮影後、アール・デコ様式に日本独特の感性を付け加えた室内から、三保谷硝子製のガラスアプローチを抜けるとモダンで開放的な空間が広がっています。全面ガラス張りで開放感があり、庭園の景観を最大限に見せていました。しかし、庭園

は整備中だったのが残念でした。

帰路は、首都高速から常磐自動車道に乗り、守谷SAにて休憩をして、見学した建物を思い起こしながら、心地よい疲れの中、予定通り18時50分に運動公園に到着し解散しました。委員会の皆様には、楽しいひとときを企画していただきありがとうございました。



活動報告 | 県央支部 松下 理

県央支部見学会報告②「現場見学会」 「ポルシェ」と「ベンツ」の華麗なる競演に圧倒される

毎年数回実施している県央支部青年女性部主催の現場見学会。今年最初の見学会は7月13日(月)、つくば市研究学園に竣工したばかりのポルシェ&ベンツのショールームで行いました。当日は梅雨明け直前の突き抜ける青空の下、平日の見学会にもかかわらず30名近くの参加をいただき実施することができました。

30度を超える外気温にも負けない参加者の熱気が会場を埋める中、県央支部青年部長であり設計・監理を担当された、横須賀満夫建築設計事務所の横須賀孝氏によるあいさつと概要説明から見学会をスタート。ポルシェとメルセデス・ベンツが同一敷地内に店舗を構えるのは世界的にも例がなく、店舗面積も国内最大級と、まさに非日常の特別な空間は見る者を圧倒。建築はもちろん車もすばらしく、参加者は皆熱心に見入り、試乗をして楽しんでいました。車のフォルムと



「メルセデス・ベンツつくば サーティファイドカーセンター」と「ポルシェセンターつくば」

乗り心地から、次の設計のアイデアを得た人もいたとか、いないとか。小心者の私は値札が目に入り、車に近づく余裕はありませんでした…。

設計者からは、コーポレートアイデンティティーの厳しい規制がある中、空間をまとめ上げたポイントや、2つのブランドの調整など腐心した話を。また、当日ごあいさつをいただいた発注者である関彰商事のご担当者からは、設計者と共に作

り上げたショールームの特徴やその思いを聞くことができました。

暑い中をご参加いただいた方々に御礼申し上げますと共に、見学会開催に当たって段取りをいただいた横須賀氏と事務局、また快くご協力いただいた関彰商事様に感謝します。皆様のおかげで、有意義な見学会になったと思います。今後もショールームに多くの来場者があることを祈念して、活動報告とします。

ようこそフレッシュマン! Welcome Freshmen!

建築士会に新たに入会された
会員の方々を紹介する新コーナー。
今号では6名の皆さんをご紹介します!



阿久津 裕司さん

[県央支部]

平成27年入会
株根本建築設計事務所

「クライアントの良き理解者となれるよう」

会社の勧めで入会しました。入会することでより建築の知識を深められると思っています。以前から講習会等には参加していましたが、これからはより積極的に参加し、諸先輩方の技術や知識を間近に見て学ぶことに期待しています。

仕事に対して常日頃心がけてい

ることはクライアントの良き理解者になるということです。クライアントの立場になって求めているものを表現するために、より多彩な知識と経験を身に付け、親しみのある設計者になることを目標としています。



岩田 直之さん

[石岡支部]

平成27年入会
㈲クボタ建築設計事務所

「これから先につながる建物を描きたい」

はじめまして。今年から入会しました、岩田と申します。設計をはじめて約8年になります。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願いたします。

入会前にも講演会、見学会などに参加していました。今後は地域

の建築士の皆様と交流を深めていければと思っています。好奇心をくすぐる活動があれば積極的に参加していきたいです。建築士としては、過去の優れた建物の維持保全とこれから先につながる建物を描いていきたいと思っています。



早乙女 直人さん

[県庁支部]

平成27年入会
県庁建築指導課

「幅広く深い知見を身につけるために」

県へ入庁してから5年が経ち、今年の5月に入会いたしました。公務員であるとともに、建築士という専門技術者の一員であることの意識を持ち続け、建築士としての知識・経験を積む努力をしていきたいと考えています。

建築という分野は、関わる事柄が多岐に渡り、幅広く、そして深い見識が必要であると強く感じています。建築士会を通じて建築士の方々との交流を深めて、知見を広めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



根本 昌義さん

[県央支部]

平成27年入会
㈱根本工務店

「正しい知識を持ち社会に貢献できる存在に」

今年の7月に入会しました。大先輩の皆様方と交流することで、茨城県の建築業界の先端を担う方々のご意見や姿勢を学ばせていただければと思い入会しました。

温故知新の精神の下、長年培われてきた建築知識を継承しながら、現代及び次世代でも耐用で

きる建築物を、様々な角度の視点を持つ皆様方と探究していきたいと思っています。将来の目標としては、建築士としての正しい知識を持って、社会に貢献できる存在になりたいと思います。



疋田 力さん

[県央支部]

平成27年入会
JR東日本

「建築業界の動向や先端技術の情報に期待」

大学卒業後入社22年目。職場での年齢層も後半組となり、自身のみならず後輩たちの技術力UPにも腐心しています。日常は自らの業界にクローズした仕事になりがちです。建築業界の動向や最先端の技術情報などを得たいと思

い、お仲間に加えていただきました。駅をはじめとした、大勢の地域の皆様にご利用いただく建築の仕事に就けていることを光栄に思います。建物の大小に関わらず、皆様に喜んでいただける建築物を今後も目指していきます。



鈴木 伴幸さん

[日立支部]

平成27年入会
(仮称)鈴木建築工舎

「古建築や文化財関連のセミナーが楽しみ」

大工として今年独立をしました。先輩の勧めもあり、同じ業界で働いている方々との情報交換や交流を図りたいと思い、建築士会に入会しました。

古建築や文化財に関わる講習会、セミナー、見学会があれば積極的に参加し、知識を深めてい

ればと思っています。

将来的には、古建築から最新の建築まで手掛けられるよう日々精進し、少しでも社会に貢献できる存在となることを目指します。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第27回となる今回は、行方支部の羽生 均氏と、石岡支部の久保田 吉文氏を訪問し話を伺いました。
聞き手＝情報・広報委員会



「建主の良きアドバイザーとして活躍を！」

羽生 均 氏 (行方支部)

昭和23年生まれ／昭和49年入会／会員歴41年

昭和48年に2級建築士となり、設計事務所を開設。現在、羽生建築設計事務所所長。行方支部では平成12年、13年に支部長に就き、現在は理事として活躍する。

——会の活動として印象に残ることは？

平成13年支部長の時、第44回建築士会全国大会宮城大会に会員とともに参加しました。この時、最長老だった行方支部会員の山口磯吉氏が表彰の栄に浴しました。氏のうれしそうな顔とホテルでの楽しく盛り上がった宴会が印象に残っています。

——建築士になるきっかけは？

中学時代、職業・家庭科で製図が面白かったこと、また高校時代に、美人の子が「設計をする人ってかっこいいね」といったことがきっかけです。

——趣味として続けている事は？

郷土史の研究、『常陸風土記』の行方郡の部分について調べています。

——後輩にメッセージをお願いします。

設計以外に住宅ローンのアドバイスや完成後の登記についての助言も必要かと思います。建主の良きアドバイザーとしてぜひ活躍してください。



「積極的に参加してこそ、会員としてのメリットが生まれます」

久保田 吉文 氏 (石岡支部)

昭和27年生まれ／昭和54年入会／会員歴36年

昭和27年地元石岡に生まれ、育ちも石岡。昭和40年代後半に、その当時花形職業であった建築士にあこがれ、高校卒業後上京し建築を学ぶ。卒業後、建築士の資格を取得し、地元にて設計事務所を開設、現在に至る。業務の8割は、石岡を中心とする県内の公共設計。本業の傍ら地元建築士会の理事を長年務め、現在は支部長として4期目となる。

——石岡支部は地元史の調査活動が活発ですね。

先人たちが残してくれた多くの歴史遺産を、建築士の視点で調査研究し、次世代に繋がるような活

動を皆で協力して行っています。

——後輩にメッセージをお願いします。

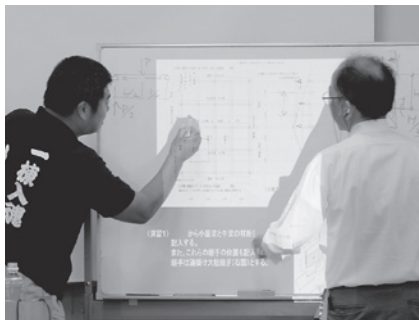
建築士会に入会していることのメリットは、受け身ではなかなか感じられないと思います。講習会や研修会、見学会などに積極的に参加することにより、他の会員との交流が生まれ、情報の取得、技術の向上、自己研鑽に繋がっていきます。ぜひ、皆さんも積極的にさまざまな活動に参加してください。それによりメリットが生まれます。

——健康維持の秘訣を教えてください。

毎日欠かさずウォーキングと月1回程度のゴルフを続けています。体を動かすことが大切です。



昨年度を超える50名が新たな塾生に。 平成27年度「木造塾」が始まりました!



上：平成27年度木造塾の第1回。松本先生による木造架構についての講義をやや緊張した面持ちで聞く50名の受講者。
下左：第1回の作図演習風景 中：第2回の講義で作図する受講者 右：講義で使用される模型

茨 城県の木造技術の底上げを目的に木造を基礎から勉強しなおし、一般ユーザーの方々により良い木造住宅の提供ができることを目的として、昨年6月より開催された「木造塾」。本年度も6月から来年3月まで全9回開催されます。

本年度も松本昌義先生を中心に講義が行われ、受講生は昨年度より10名多い50名の申し込みがありました。

第1回は松本先生による講義で木造架構の話。一般性と柔軟性のある設計システムの提案、一般

性のためには木造架構を規格化し、設計・施工の手間を省くことによりコストダウンが図れ、柔軟性のためには主構造となる内部柱の数を減らし、間取の自由度を高めることが重要と説明。演習においては一般的な切妻屋根の小屋組において小屋梁の断面算定、2階床梁の断面算定、床伏図の作図演習を行いました。続いて宿題となる課題1の説明。与えられた架構グリッドから2階建て住宅の平面計画を考える課題が出されました。

第2回も松本先生による講義。初

めに提出された宿題課題の中から3点が選出され、講評が行なわれました。続く講義では「伏図を考える手順」として小屋梁、床梁とも2間スパン以下を原則として架構を考えること、さらに「水平架構における継手位置の注意点」として耐力壁内部での継手は原則として避ける、火打梁の近傍での継手は避ける、継手位置は乱に配置するなど留意点の解説、「矩計図の考え方」などの講義が行われました。最後に次回までの宿題として課題2の説明があり、第2回の講義が終了しました。



「常陸国のむかしの家体感ツアー」第5弾！ 先人たちの技術力と情熱をひしひしと感じた一日



高萩市にある県指定文化財の「穂積家住宅」前で

去る平成27年6月7日、まちづくり委員会の恒例企画となる「常陸国のむかしの家体感ツアー第5弾」が行われました。

日立から始まり、高萩・北茨城と移動距離も長く、朝早くから日没ギリギリまでの強行スケジュールでしたが、40名の参加者皆さんのご協力もあって、ほぼ予定通りの行程で見学することができました。

建築物の詳細についてはこの後発刊される『常陸国のむかしの家』を楽しみにしていただくとして、このレポートでは個人的な感想を気楽に書き綴ります。

大みかクラブ

最初の見学先は「大みかクラブ」。ゴルフ場のクラブハウスとして昭和11年に建築されたこの施設、バランスの取れた落ち着いた雰囲気と今も霞むことのない造形美に目を奪われます。高床式の神殿造りとなる木構造の迫力とRC造部分の空間演

出と造形がとても美しい建築物です。それもそのはず、大みかクラブの設計は東京大学安田講堂の設計なども手掛けられた岸田日出刀氏（勉強不足の私に委員会メンバーが教えてくれました：汗）。日本建築学会会長も務められ、造形意匠の美を追求された方。なるほど、美しいわけです。建築物はもちろん外構も含め、空間演出はしっかり考え抜いて初めて成功するものだを教えてくれているようです。大規模建築物でも小住宅でも同じことですね。意匠設計の重要性をあらためて感じることができました。



グリーンから見た「大みかクラブ」

日立武道館

次に訪れたのは日立中央インター近くにある「日立武道館」。旧共楽館。登録有形文化財。東京の歌舞伎座や帝劇を参考に、大正6年に日立鉱山によって建設されたということです。モチーフからして、やはりとても優雅で迫力ある内外観でした。ただこの施設、平成23年に綺麗に改修されています。改修前を知る参加者の方々からは「ちょっと綺麗過ぎますね」と苦笑い気味のご意見も多々聞かれました。



優雅さを感じさせる「日立武道館」の行まい

日鉱記念館

テンポよく移動して「日鉱記念館」へ。敷地内には、記念館・日久原本部・鉱山資料館などが建ち並び、日立鉱山の歴史を記した施設となっています。記念館本館のRCキャンティレバーの造形も美しいですが、皆が一様に声を上げたのは資料館。木造ではありますが、柱梁ともトラス組のような複雑な構造で大空間を形成しています。その迫力に圧倒されました。第二次大戦中にコンプレッサー室として建設された建屋をそのまま資料館として利用し、大型削岩機やコンプレッサー等が展示されています。「本当はこの規模の施設であれば鉄骨で造りたかったんでしょけど、なんせ大戦中という

ことで鉄は使えません。木造で大空間をつくり上げるために試行錯誤しながら設計・建設したんでしょ(館長談)。建築も時代背景と世情によって創造し適応し、時を刻んでゆきますね。



迫力ある「日鉱記念館」資料館内部

川尻1丁目の街並み

日立市最後は「川尻1丁目の街並み見学」です。川尻1丁目を通る陸前浜街道(旧岩城相馬街道)周辺には市場も開かれ活況を呈したと言われています。当時のままの酒蔵や味噌醸造蔵、商店や商家がいくつか建ち並び、当時の街並みを感じることができるといいます。県下酒蔵の中で最も海に近い森島酒造の酒蔵を見学させていただきましたが、大谷石の壁と木造の小屋組、それぞれの樽から、麴の香りが漂ってきて建屋の年季を感じました。

鵜の岬でおいしいお昼をいただいた後、日立を後にして高萩へ。高萩での見学は2ヶ所。「穂積家住宅」と「たつご味噌蔵」です。

穂積家住宅

「穂積家住宅」は県指定有形文化財でもあり、しっかり整備された施設です。江戸時代中期に建築されたという豪農住宅、すぐに目につくのは桁行12間・梁間6間の空間を構成する700φの松丸太の小屋組。また、茅葺屋根の軒付けの市松模様も当時の美意識を感じ

ます。個人的には、主屋の縁側廊下と一体となって視界に入る池と庭園がとても気に入りました。このような“どこに立った時にどう見える”というのも、設計の段階で真剣に考えてデザインしないと、なかなか生まれるものではありません。



700φの松丸太による「穂積家住宅」の小屋組

たつご味噌蔵

続いて穂積家にほど近い「たつご味噌蔵」へ。安政元年(1854年)創業の老舗味噌蔵。芳醇な香り漂う味噌蔵は、使い込まれた木製の樽も含め複雑な小屋組が印象的でした。この味噌蔵のほかに、敷地内には代々引き継がれた住居と水戸黄門のドラマに出てきそうな茶屋、それをつなぐ茨城自然百選に選ばれたこともある庭園に囲まれています。茶屋ではホッとするような美味しいお味噌汁が全員に配られ、急ぎ足で進めてきた見学会の、良い休息になりました。



「たつご味噌」の雰囲気ある茶屋で一休み

びすつれ

そして最後の行程、北茨城へ。まずは、大津港駅のロータリーに面した北茨城市観光案内所「び

すつれ」へ。以前は荷馬車などで集めた海産物などが保管された場所だったようです。なかなか目にする事のないレンガ造。ぜひ大津港駅に行った際は立ち寄ってください。

砥上屋旅館

見学会最後は平潟漁港へ。その港に面して建つ「砥上屋旅館」。木造3階建てのこの旅館は、江戸時代末期に2階建てで新築され、明治43年に3階が増築されたとのこと。

内部は複数の階段で一見複雑な構造かと思いましたが、客室はみな漁港に面していて明快な動線でした。また、古くから建つ木造三階建てではありますが、構造体はしっかりしていて、昔の職人の技術力の高さを感じました。

客室から漁港を眺めると、夕方の穏やかな波の満ち引きが目にも耳にも心地よかったです。



漁港に面して建つ木造三階建ての「砥上屋旅館」

こうして、強行でしたが充実した日立・高萩・北茨城の体感ツアーが終わりました。帰りのバスの中でも「あの施設が良かった」「この施設が印象的だ」など、同業者だからこそ解る感想やエピソードも多々聞かれ、先人たちの技術力の高さと建築に打ち込む情熱を感じられた、充実した1日でした。常に技術者として芸術家(?)として、後世に残せる建築物をという意識を持って、仕事に打ち込んでいきたいですね。

講習会・セミナーの企画・開催や試験監督業務への協力に、 委員会メンバーが一丸となって取り組んでいます

昨年度より研修委員会に配属され、委員長を拝命することになりました。初めての委員会のため、活動など勝手が解らず委員の皆さんに毎度毎度、大いに助けられ何とか二年目を迎えることができ、今年も私で大丈夫かな？ というのが正直な気持ちです。

一方、お陰様で委員の皆さんはダメ委員長のフォローも素晴らしく、また委員会自体のチームワークも居心地も、結構大変な活動の割にはありがたいくらい良い感じです。

さて、この委員会の活動内容を簡単に説明すると建築士会で唯一、収益事業を実施している委員会であり、いかに良い講習会やセミナーができるか否かで

会への関心度や委員会活動の成果と貢献度が大きく変わっていくところであります。

その一つが、建築士が受講すべき講習（定期講習や5年に一度受講すべき知事指定講習など）と法律改正時にタイムリーに開催する講習。資格者としてのスキルアップのために開催する講習や講座もあります。

また、昨年より工事現場の管理者向けのセミナー（4回コース）がスタートしました。こちらは、設計職以外の会員のための講座として開催するもので、工事を施工する技術者

が当然のように知っておくべきことが意外に知識から欠落していたり、普段何気なく見過ごしてしまっていることでも実はとても重要だったりする、そのような知っておくべき管理の大切な「ツボ」をセミナーにしたものです。地盤から電気や設備工事まで、建築工事全域においての幅広い知識の習得や、不具合などのリスク回



「改正建築基準法の解説」講習会風景

避のため、ぜひ参加して欲しいと考えています。その企画や準備や打ち合わせが委員会会議の多くを占めています。

さて、もう一つは建築士の登竜門である建築士試験の試験監督業務への協力があります。士会に入会している方々は、少なくとも一度はこれを経験しているはずですが、

私も25年ほど前、こんなに真面目に学生時代に勉強したら、ちょっと人生変わっていたんじゃないかと思うくらいの試験勉強をした経験があります。大学進学を受験勉強を

はるかに凌ぐ量だったと今でも思っています。そんなこともあり、建築士試験に合格した時の嬉しさは今でもよく覚えています。

そして今、受験生の試験に立ち会う試験監督という立場になって改めて思うことは、あの時期を知り試験への苦勞を知っているからこそ、建築士試験監督を真摯に、かつ真剣

にやらなければと、資格者である我々は至極自然に考えることができるということ。

試験は、二級、一級、木造の学科は、いずれも7月に行われ、たいへん厳しい暑さの中での実施となります。また、製図試験は9月中旬、10月中旬にそれぞれ行われ、こちらも決して快適とは言えない時期となります。

年に一度のこの試験を受験し、それをパスするために多くの人たちがチャレンジをしています。その中でも、多くの時間を注ぎ込み本当に頑張っている受験生、そしてこの資格を保持し、建築という仕事を自分の一生の仕事として真剣に従事していこうと考えている人たちには、特に合格を願うばかりです。

努力が報われ、建築士の仲間入りをした際には、私たち研修委員会一同、皆様の建築士会への入会を心待ちにしています。

第25回チャリティーゴルフ大会開催。
今回も多数のご参加、ありがとうございました！



上：見事団体戦優勝に輝いた石岡支部のメンバー。おめでとうございます！
下左：ナイスショット！ 右：個人の部優勝の小暮氏に柴会長より優勝商品を贈呈

チャリティーと会員の親睦を目的とした恒例行事「チャリティーゴルフ大会」が、6月25日(木)、笠間市・富士カントリー笠間倶楽部において開催されました。

当日は、各支部から正会員、賛助会員入り混じっての127名が参加。全27ホール、新ペリア方式で熱戦が繰り広げられました。

結果は、「個人の部」では石岡支部の小暮真一氏が、「女子の部」で

は県央支部の市毛啓子氏が、「団体の部」では石岡支部が、それぞれ優勝に輝きました。

プレー終了後は、懇親会を兼ねた表彰式が倶楽部内レストランにおいて開催され、主催者の柴会長挨拶の後、参加者全員で乾杯をし、ニアピン賞、ドラコン賞、団体賞、各個人賞の発表が行われ、和やかな雰囲気の中、パーティーは終了しました。

個人の部		
優勝	小暮 真一 (石岡)	ネット 71.0
準優勝	清水 洋一 (ひたちなか)	ネット 71.6
3位	島田 博樹 (県央)	ネット 72.0
ベスグロ	小暮 真一 (石岡)	グロス 77.0

団体の部		計
優勝	石岡	グロス 357
準優勝	県央A	グロス 364
3位	賛助会	グロス 364
4位	土浦	グロス 371
5位	高萩	グロス 372

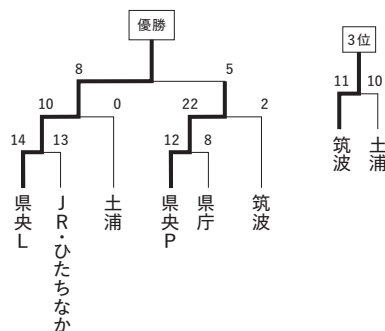
今年は県央Lチームが優勝！ 第39回ソフトボール大会開催

平成27年9月5日(土) 水戸市東野市民運動場



優勝を飾りチーム全員でいい笑顔！ 県央支部Lチームのメンバー。

平成27年9月5日(土)、水戸市東野市民運動場にて、第39回ソフトボール大会(県大会)が開催されました。今大会優勝に輝いたのは、総合力と運も味方した県央支部Lチーム。Lチームの皆さん、おめでとうございます！ お忙しいところ各支部から参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



第8回ボウリング大会開催

平成27年8月22日(土) 水戸市グリーンボウル

第8回ボウリング大会には、各支部から会員、賛助会員合わせて54名が参加しました。個人戦では、2ゲームを投げトータルスコア309で芳賀一樹氏(賛助会)が優勝しました。また、団体戦では上位3名のトータルスコア791を記録した桜川支部Bチームが見事優勝しました。プレイ終了後は表彰式と懇親会が行われ、会員の家族を含む参加者全員で交流を深めました。参加していただいた皆さん、ありがとうございました！

個人の部	スコアは2ゲーム合計	
優勝	芳賀 一樹 (賛助会)	309
準優勝	高宮 英司 (桜川)	302
3位	鈴木 智子 (賛助会)	286
4位	石島 隆 (桜川)	283
5位	和田 淳一 (県央)	276

団体の部	スコアは上位3名合計	
優勝	桜川支部B	791
準優勝	ミナト防災通信工業	767
3位	建築センターA	746



ゲームに集中する参加者の皆さん



土浦のポケットパーク設置事業が「関ブロ理事会賞」受賞！ 「平成27年度関ブロ青年建築士協議会 群馬大会」報告



関ブロ青年協議会会長を務める青年委員会の飯島委員長が「関ブロ理事会賞」の楯を授与

去る平成27年6月19日(金)、群馬県の「舌切り雀のお宿 磯部ガーデン」にて、『平成27年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会群馬大会』が盛大に開催されました。

今回茨城からは50名以上が参加、全体では500名を超える士会会員が参加する、とても賑やかな大会となりました。

群馬大会のテーマは『建築の種をまこう』です。私は第一分科会において、所属する土浦支部が主体となって実施した『中城通りポケットパーク設置事業』についての発表を行いました。

この事業は、土浦市にある歴史的景観の修繕を目的として、市所有の駐車場に板塀とベンチによるポケットパークを設置したものです。資金計画や行政との協議の過程、今後の課題などを踏まえ、新たな会



テーマとした「中城通りポケットパーク」



右が「関ブロ理事会賞」の記念の楯

員が活躍できる土壌をつくり上げた「最初の種」として発表をしました。

わずかな時間で必要な情報や活動への思いを伝えることは難しく、言葉足らずではなかったかと不安でしたが、結果として茨城の発表は、『関ブロ理事会賞』をいただくことができました。積極的なまちづくり参加が高く評価され、最優秀賞をしのぐ？ 大変喜ばしい賞をいただくことができました。

発表の後には、テーブルディスカッションが行われました。各都県の方々から今回の事業に対する多く

のご意見をいただき、今後の活動に結び付きそうな発展をイメージすることができました。

私自身としては他県の方の発表内容について、お伺いする時間がなかったのは残念でしたが、大変有意義な意見交換となりました。

全国の青年建築士たちが社会貢献に励んでいることを実感できた今大会は、自身の活動への刺激となりました。

来年開催される山梨大会でも多くの青年建築士との交流を期待しています。

「スウェーデン大使館見学会」に見る、 スウェーデンらしさと日本的なものの相性の良さ



スウェーデン大使館のエントランスで

平成27年4月22日、「スウェーデン大使館見学会」に参加しました。

さて、スウェーデンといえばすぐにボルボの車が頭に浮かびます。主力がトラックのメーカーなので丈夫そう。また、ベルックスの天窓はスウェーデン製だと思っていましたが、お隣のデンマーク製でした。

大使館到着後、最初に広報活

動や講演などに使われるオーデトリウムで、お国についての様々な説明を受けました。人口は日本の1/12ほど。日本に製材の輸出が多い等、木材ではお世話になっているようです。北欧諸国が国際社会に影響力があるのは、著名な文化人を多く輩出しているから。また輸入住宅もありますが、スウェーデンとの経済交流になっていることはいいことだと思

います。製材メーカーが日本の企画で作っているものもあります。ちなみに主食のジャガイモの生産量は、日本のほうが多いようです。

宿舎の一部も見学させていただきましたが、キッチンがIKEA製とのこと。日本的な緑色の銅版の屋根を載せた職員住居を、スウェーデン的な円形の御影石の外壁で包む建物です。住居部分のテラスからは、日本庭園も眺められて綺麗です。いただいた本には寺院と書いてありますが、お城のように見えました。テラスの外装には木材が使用され、本国から取り寄せた木製の窓は特別に承認されたようです。

今回の見学会に参加して、今後の家づくりに北欧の製品を扱いたいと思うようになりました。また、プレカット材の刻印もよく見て、彼の国を思いたいです。

本格イングリッシュガーデン「七ツ洞公園」を 前水戸市都市計画部長の案内でめぐる

「テルマエ・ロマエ」で一躍有名になった「七ツ洞公園」の見学会に参加しました。

今回は「七ツ洞公園再生」プロジェクトの担い手、前水戸市都市計画部長石井秀明氏による案内というデラックスなものでした。

18世紀英国の「ピクチャレスク」という自然を設計に取り入れ、風景画を意識する庭様式にこだわって作られています。ヘビのように中央をう

ねるように流れる水「サーペンタイン」、遠くに引き寄せられるような風景です。その風景の途中には中世の廃墟のような構造物(右絵)。作ったものを、叩いてわざと廃墟にしたそうです。河に沿って歩いて行くと風景がどんどん変わっていきます。最後に、19世紀のイングリッシュガーデンが現れ、沢山の花と出会えます。

石井氏ならではのお話も聞け、充実した見学会でした。



七ツ洞公園(絵は筆者による)



5月のわくわくセミナーは「YKK AP品川ショールーム」で 窓の遮音性・防音性・断熱性の効果を体感



YKK AP品川ショールーム

5月のわくわくセミナー「YKK AP品川ショールーム見学会」に参加しました。今回はバスでの移動の時間やランチの時間と、建築士会の皆様と沢山の情報交換をする

時間をもて、交流も深められ、たいへん有意義な時間を過ごすことができました。

ショールームには、窓の遮音性や防音性、断熱性の効果比較を実

体験できるコーナーがあり、特に断熱性能の違いはたいへん分かりやすく、これまではお客様へカタログに載っている数字でしか性能をお伝えすることができませんでした。より具体的にわかりやすく、違いをお伝えできそうです。通常見ることができない実物サッシの断面展示は、メーカーの工夫をみることができ、とても興味深かったです。

建築士会の皆様と説明を聞くことで、自分だけでは気づかない角度からの質問もたくさんあり、より多くの情報を得ることができました。今後も積極的に参加し、知識を深められればと思います。



6月のわくわくセミナーは「収納のコツ」について。 上手な収納で時間の余裕が生まれ、イライラも解消!

平成27年6月23日(火)に土浦市三中地区公民館にて行われたわくわくセミナーは、整理収納アドバイザー1級の齊藤真弓氏を講師にお迎えしました。整理収納のセミナーと聞くと、お部屋が散らかった状態のbeforeと、整理された様子のafterの写真等を見せてもらえるのかしらと思っていたのですが、齊藤氏のセミナーは、「整理」や「整頓」の意味、なぜ必要なのか?そして、整理整頓をすることによって、どんな効果が生まれるのか?また、今まで接してこられたお客様たちとの体験談など、充実した内容で、あっという間の2時間でした。

まず驚いたことは、日本人が探し物をしている時間がどのくらいあるかということ。齊藤氏によると、1日にちょこちょここと20~30分探し物をしているだけで、年間でなんと平均160時間も費やしているそうです。整理整頓ができていれば、物のある場所が把握できているので、探し物をせずに暮らせます。そうすると、時間的な余裕が生まれ、精神的にもイライラが減るそうです。

それから、私が安心したことは、整理=物を捨てることではない、ということ。捨てられない物には、持ち主の方の思い出があることが多いので、よく気持ちを聞いて、捨てず

に収納する方法を考えるということ。お客様個人個人の思い入れ、考え方、そして暮らし方をよくヒアリングして方法を見つけていくことは、住宅のデザインをするときにも通じると、改めて実感しました。



講師の齊藤真弓先生

安心とくつろぎをお届けする

有限会社 亜細亜警備保障

〈列車見張り、施設、イベント、駐車場、巡回、交通誘導〉

代表取締役

尾崎 嗣 朗

本社 那珂郡東海村舟石川845-4

〒319-1111 TEL 029-282-7056(代)

FAX 029-282-7017

E-mail: asia_keibi-bajien@eos.ocn.ne.jp

コンクリート・鋼構造物 (建築・土木・橋梁・プラント) 工事

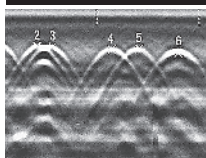
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|
| ■ 建築物調査
赤外線サーモ
打診調査 | ■ 耐震調査
鉄骨部調査
コンクリート部調査 | ■ インフラ整備調査
劣化腐食度調査
材料強度試験 | ■ プラント調査
ファイバースコープ
材厚測定 |
|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|
- 認定試験技術者
- 日本非破壊検査協会 (赤外線サーモグラフィ試験)
 日本非破壊検査協会 (放射線(X線)透過試験)
 日本非破壊検査工業会 (インフラ調査等試験)

赤外線サーモ試験画像



建築・土木RC構造物
 剥離・クラック・結露
 ※外壁面調査など

RC内部探査断層画像



RC造内部探査
 配筋・配管
 ※後施工アンカー前試験など

X線透過試験画像



コンクリート造内部探査
 鉄筋・配管・VP管
 ※コア削孔前試験など

鉄骨工事

- 溶接部
- 超音波試験
 - 製品検査

鋼管・PHC 杭工事

- 溶接部
- 超音波試験
 - X線透過試験
 - 浸透探傷試験

鉄筋工事

- 鉄筋継手部
 圧接・溶接・機械式継手部
- 引張試験
 - 超音波試験
 - 熱間押抜工法試験

土木・橋梁工事

- 溶接部・アンカー部
- 溶接部 X線、超音波、浸透試験
 - フェイズドアレー超音波試験
 - アンカー一定着長超音波測定

- ・東京都検査機関登録 (鉄骨溶接部第三者検査機関)
- ・日本溶接協会CIW認定 (溶接部非破壊検査機関)
- ・日本鉄筋継手協会JRJI認定 (優良鉄筋継手部検査機関)

KES 株式会社 関東エンジニアリングサービス 〒311-4143 茨城県水戸市大塚町字大塚1284-1
 TEL 029-252-8870 FAX 029-253-5946
 E-Mail info@kantoueng.co.jp

設備設計・監理

(一社)日本設備設計事務所協会会員
 (一社)茨城県設備設計事務所協会会員



菊地設備設計事務所

所長 菊地 繁

事務所 / 〒310-0035 茨城県水戸市大工町3-4-24 ハイジマビル

TEL 029 (227) 2725(代)

FAX 029 (227) 2744



行方市立麻生幼稚園

設計・工事監理



株式会社 桜設計事務所

代表取締役 山田 博通

〒310-0851

水戸市千波町1239 ☎029(241)8441

☎029(241)8579

E-mail: cnsakura@cocoa.ocn.ne.jp

JDS

淳設計工房

J u n D e s i g n S t u d i o

一級建築士事務所

〒311-4145

茨城県水戸市双葉台2丁目13-7

TEL 029-212-7620 FAX 029-239-3403

日本工業規格表示認証工場 JIS S 6007 (黒板) ML0308001

ISO 9001:2008 認証取得・ほうろう白板連盟基準認定工場 No.0024

建設業国土交通大臣許可 (内装仕上工事業) 第20397号



株式会社須藤黒板製作所

〒132-0035 東京都江戸川区平井7丁目17番35号

電話 03 (3617) 8701番 (代)

FAX 03 (3616) 0811



<http://www.sudoh-net.com>

E-mail:kokuban@sudoh-net.com

スド-黒板

早さと正確をモットーに

より美しく、より創造的なプリントワークをめざして



センター印刷株式会社

水戸市柳町1丁目1番1号 〒310-0817

TEL 029-224-4535 FAX 029-225-5007

HAN

設計・監理

(有) 汎連合設計



水戸市立内原幼稚園

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1214-3 齊藤ビル2F

TEL 029-244-5472 FAX 029-244-5482 E-mail han-sekkei@msj.biglobe.ne.jp



株式会社 **市毛建築設計事務所**

代表取締役 **市毛 純一**

〒311-4152 水戸市河和田2丁目2190-7
TEL 029(253)1331 / FAX 029(253)3511
E-mail: j-ichige@sunshine.ne.jp

豊かさへのかけはし



総合建設業 **多賀土木株式会社**

代表取締役社長 **松山 昭彦**

本社 / 日立市東多賀町 2-2-3
TEL 0294(36)0111
FAX 0294(32)0040

高萩営業所・ひたちなか出張所

■企画・設計・監理



株式会社 戸頃建築設計事務所

代表取締役 小川 憲一

〒310-0043 水戸市松が丘1-2-23

TEL:029-226-4869(代) FAX:029-226-4894

E-mail : tokoro@mbb.nifty.com

宅建

ここが
万能

宅建合格者のうち、
不動産業界で働く人は
24%程度

宅建は、不動産業界だけでなく、金融・小売り・外食産業
でも求められる国家資格です。

公務員

ここが
人気

景気に左右されないから
抜群の安定性と将来性、
どんな時代でも人気

地位が法律で保証され、民間企業に比べはるかに安定!
採用・昇進・給与・職務が男女平等という魅力の1つ。

FP ファイナンシャル プランナー

ここが
万能

ファイナンシャルプランナーは
仕事に限らず、
日常生活でも役に立つ

ファイナンシャルプランナーは日常生活に大いに役立ち、
人生設計に欠かせない知識を網羅した国家資格です。

簿記・経理

ここが
万能

規模・業種にかかわらず、
あらゆる事業活動に
欠かせない簿記

規模・業種にかかわらず、あらゆる事業活動に欠かせない!
簿記は、決してニーズがなくなるらない。

医療事務

ここが
万能

年齢に関係なく長く働く
ことができ、就職・再就職
に非常に有利

全国に病院はあり、専門知識と人生経験も評価され、年齢に
関係なく続けられる仕事として女性に支持されています。

万能資格を 取る!!

始めるなら、やっぱり
役に立つ人気の資格・技能

資格スクール大栄との共同企画による、Online 講座
自分の都合に合わせて時間を予約・通って学べる教室です。
表記講座以外にも多数の講座をご用意しています。

無料説明会を開催…お問合せお申し込みはHPから

水戸教室住所:水戸市北見町8-12 (株)日本クリエート茨城内

DAIEI 資格スクール 大栄

☎0120-002-166
平日9:00~21:00 土・日・祝9:00~17:00

無料 資料請求

説明会・無料体験

建築と住まいのことなら!



一般 茨城県建築センター 財団法人

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

☆ 当センターのご利用の多いユーザーには

『建築確認手数料の後納制度』があります。

☆ 『レターパック等にて確認申請』を受付けております。

確認引受書と併せて新しいレターパックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲

- 全ての建築物の確認 (ルート2審査対応)、中間検査及び完了検査
- 建築設備、工作物の確認及び完了検査
- 仮使用の認定手続き

完了検査率アップ!
検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険 (統括事務機関) 住宅保証機構 (株)
- あんしん住宅瑕疵保険 (取次店) (株) 住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険 (取次店) (株) 日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険 (取次店) ハウスプラス住宅保証 (株)

3 証券化支援事業業務

- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務



<http://www.ibakenju.or.jp/>

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第3者機関(当センター等)による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期優良住宅の認定に係る審査業務

- 長期優良住宅建築等計画の技術的審査業務

6 低炭素建築物の認定に係る審査業務

- 低炭素建築物新築等計画に係る技術的審査業務

7 構造計算適合性判定業務

8 耐震診断・補強計画判定業務

9 住宅・建築の相談業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎週第1・第3土曜日10:00~16:00(12:00~13:00昼休み)



一般 茨城県建築センター
財団法人

本部・県南・県西事務所のいずれも
直接受付・確認いたします。

営業時間/平日の9:00から18:00まで
(第1・第3土曜日にも営業しています。)

■本部事務所(水戸市)
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30

TEL.029-305-7300 FAX.7310

■県南事務所(つくば市)
〒305-0035 茨城県つくば市松代1-18-1

TEL.029-860-8088 FAX.8090

■県西事務所(古河市)
〒306-0126 茨城県古河市諸川1064-1 三友ビル5階

TEL.0280-75-2600 FAX.2603



シ
ア
ワ
セ
を
記
憶
す
る
、
ホ
テ
ル
。

重ねてきた時間が、確かな絆を育んでいく。

伊勢甚グループ



Urban & Community

水戸プラザホテル

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1

<http://www.mito-plaza.jp/> Tel.029-305-8111(代表)

ご存知ですか？

免許の提示義務



○ 建築士免許証等の提示の義務化（建築士法第19条の2）

近年、建築士免許証の偽造による建築士なりすまし事案が発生していることなどから、建築主への建築士に対する情報開示の充実が求められています。平成27年6月25日に施行された建築士法の改正では、建築士は、委託者（これから委託しようとする者も含む）から求めがあった際、建築士免許証又は建築士免許証明書を提示することが義務づけられています。

建築士免許証等については、携帯の義務までは課せられていませんが、求めがあった際にその場で提示できない場合は、次回の打合せ時に提示するなど誠実な対応を行なうことが必要です。

○ 重要事項の説明等（建築士法第24条の7第2項）

管理建築士等は、建築主と契約前に重要事項の説明をするときは、当該建築主に対し、建築士免許証又は建築士免許証明書を提示しなければなりません。



中央指定登録機関
(公社)日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館5F
TEL. 03-6436-1401

免許の提示を求められた場合、 携行可能なカード型免許証明書が便利です。

カード型免許証明書は…

ICチップ内蔵により、
偽造・変造が
極めて困難です

顔写真入りで、
契約時の信頼性が
高まります

自動車運転免許証と
同じサイズで
携帯に便利です

※都道府県により異なります。

カード型免許証明書の裏面には、 法定講習受講履歴を記載することができます。

- 建築士免許証等の記載事項等に変更があった場合の書換え規定の明確化
(建築士施行規則第4条の2第2項)

氏名・生年月日以外の記載事項等（定期講習の受講履歴や顔写真など）について変更があった場合に、建築士免許証等の書換え交付を申請することができることが規定されました。書換え交付を申請すると新たな建築士免許証明書が交付されます。

なお、氏名等に変更があった場合は、従来どおり、変更があった日から30日以内に届出を行い、併せて建築士免許証等の書換え交付申請をすることが義務づけられています。(建築士法第5条の2)

※二級・木造建築士免許証裏面の法定講習受講履歴については、指定登録機関または、登録都道府県にお問い合わせください。

講習受講履歴		
講習の種別	修了年月日	修了証番号
定期	平成00年00月00日	012345-6789012345
定期	平成00年00月00日	012-34-567890-12
管理	平成00年00月00日	0123-456789

詳しくは、(公社)日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/touroku/>

◇ 建築士会お問い合わせ先（一級建築士申請窓口は、現在お住まいになっている都道府県にある建築士会です。）

士会名	電話	※	士会名	電話	※	士会名	電話	※
北海道建築士会	011-251-6076	★	新潟県建築士会	025-378-5666	★	岡山県建築士会	086-223-6671	★
青森県建築士会	017-773-2878	★	静岡県建築士会	054-254-9381	★	広島県建築士会	082-244-6830	★
岩手県建築士会	019-654-5777	★	愛知県建築士会	052-201-2201	★	山口県建築士会	083-922-5114	★
宮城県建築士会	022-298-8037	★	岐阜県建築士会	058-215-9361	★	徳島県建築士会	088-653-7570	★
秋田県建築士会	018-863-6348	★	三重県建築士会	059-226-0109	★	香川県建築士会	087-833-5377	★
山形県建築士会	023-643-4568	★	富山県建築士会	076-482-4446	★	愛媛県建築士会	089-945-6100	★
福島県建築士会	024-523-1532	★	石川県建築士会	076-244-2241	★	高知県建築士会	088-822-0255	★
茨城県建築士会	029-305-0329	★	福井県建築士会	0776-24-8781	★	福岡県建築士会	092-441-1867	★
栃木県建築士会	028-639-3150	★	滋賀県建築士会	077-522-1615	★	佐賀県建築士会	0952-26-2198	★
群馬県建築士会	027-252-2434	★	京都府建築士会	075-211-2857	★	長崎県建築士会	095-828-0753	★
埼玉県建築士会	048-861-8221	★	大阪府建築士会	06-6947-1961	★	熊本県建築士会	096-383-3200	★
千葉県建築士会	043-202-2100	★	兵庫県建築士会	078-327-0885	★	大分県建築士会	097-532-6607	★
東京建築士会	03-3536-7711	★	奈良県建築士会	0742-30-3111	★	宮崎県建築士会	0985-27-3425	★
神奈川県建築士会	045-201-1284	★	和歌山県建築士会	073-423-2562	★	鹿児島県建築士会	099-222-2005	★
山梨県建築士会	055-233-5414	★	鳥取県建築士会	0857-21-7280	★	沖縄県建築士会	098-879-7727	★
長野県建築士会	026-235-0561	★	島根県建築士会	0852-24-2620	★			

(2015年8月1日現在)

二級建築士、木造建築士の免許証も順次カード型に切り替わっています。

※二級・木造建築士申請窓口は、★は建築士会（指定登録機関）、☆は都道府県です。



行方市立玉造小学校



株式会社 須藤隆建築設計事務所

茨城県土浦市港町1-7-23
TEL 029-822-4362
FAX 029-822-4394
URL <http://www.sudou-ad.co.jp>
E-Mail info@sudou-ad.co.jp



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222[代]

FAX.029-231-0960



行方市立玉造小学校 (テラス)



一般社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>